

第4章 産科混合病棟の実態と課題

産科混合病棟の実態と課題

1. 調査概要

1) 目的

分娩を取扱っている病院における、産科混合病棟の実態を明らかにする

2) 調査対象

病院

3) 結果

回答した 595 病院のうち、453 病院 (76.1%) が産科混合病棟であった。453 病院のうち、産婦人科病棟は 92 病院 (20.3%)、婦人科だけではなく婦人科以外の診療科との産科混合病棟は 361 病院 (79.7%) であった。産科と混合している他診療科の数は、最少で 1 診療科、最大で 12 診療科であり、平均は 3 診療科であった。産科と混合している診療科は多い順に、婦人科 410 病院 (90.5%)、小児科 199 病院 (43.9%)、内科 186 病院 (41.1%) であった。

また、産科混合病棟において産科患者の病室が「基本的に個室へ入院」は 60 病院 (13.2%)、「産科患者のみの病室」は 221 病院 (48.8%)、「他科患者と同室」は 172 病院 (38.0%) であった。また、「他科患者と同室」する病院のうち「常に」は 13 病院 (20.4%)、「ときどき」は 73 病院 (42.7%)、「ごくまれに」は 85 病院 (49.7%) であった。

他科患者が、産科混合病棟や産科患者が入院している病室に入院となる場合のルールや基準を設けている病院は 453 病院中 412 病院 (90.9%) であり、そのルールや基準を「完全に守っている」のは 408 病院中 222 病院 (54.3%) であり、「ケースバイケースで他科患者を受け入れる」は 117 病院 (28.6%)、「緊急時は他科患者を受け入れる」は 63 病院 (15.4%) であった。

他科患者が、産科混合病棟や産科患者が入院している病室に入院となる場合のルールや基準は多い順に「男性は除外」が 409 病院中 355 病院 (86.8%)、「感染疑い・感染患者は除外」が 351 病院 (85.8%)、「不穏・認知の症状がある患者は除外」が 230 病院 (56.2%) であった。

産科混合病棟の助産師が、産科と他科の患者を同時に受け持っているのは 453 病院のうち、327 病院 (72.2%) であり、そのうち「常に」は 108 病院 (33.0%)、「ときどき」は 162 病院 (49.5%) であった。

4) まとめと考察

北島 (2009 年) の調査では、全国産科併設総合病院 578 病院のうち、産科混合病棟は 436 病院 (75.4%) であり、そのうち産科と婦人科の混合病棟は 153 病院 (35.1%)、産科と婦

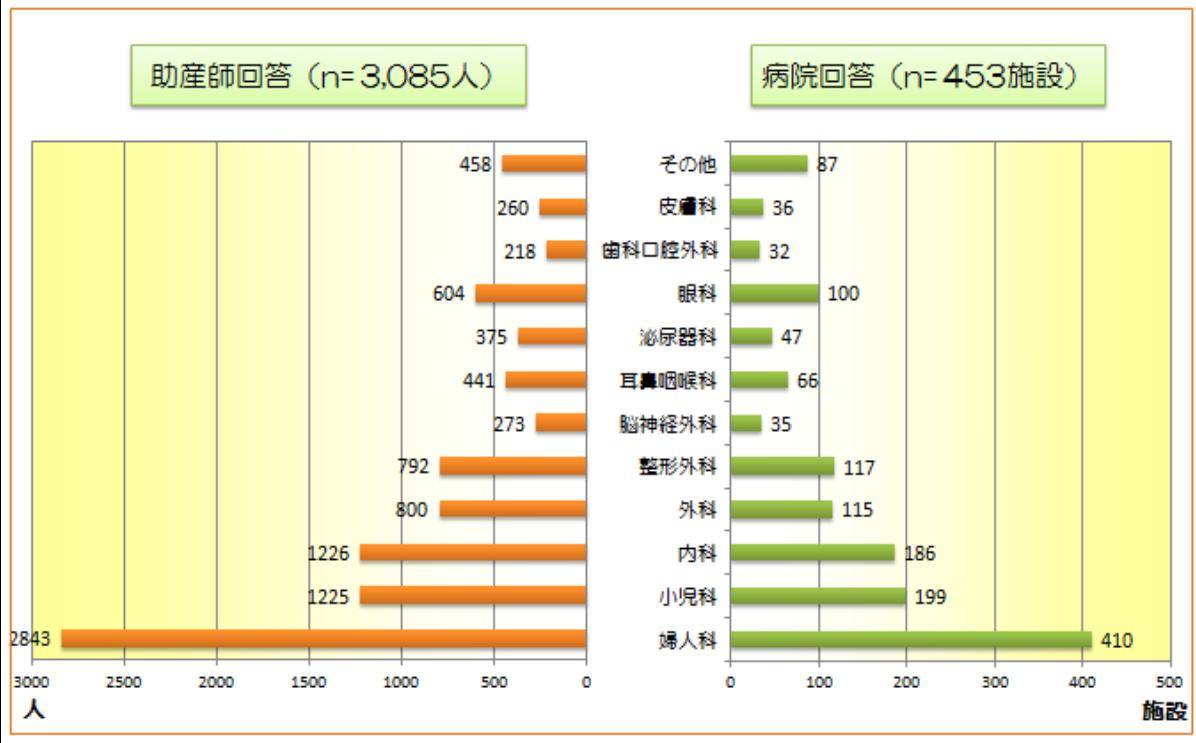
人科以外の混合病棟は 283 病院 (64.9%) であったと報告している。本調査では、産科混合病棟が 76.1% とほぼ同じ割合であるが、産科と婦人科以外との混合病棟が 79.7% と北島の報告よりも割合が高く、産科が婦人科以外の診療科との混合病棟になっている可能性がある。また、小児科との混合病棟が半数を占めており、小児科患者と免疫機能が未熟な新生児が同じ病棟にいることは、新生児の感染のリスクが高まることが危惧される。さらに、約 4 割の産科混合病棟では産科と他科患者が同じ病室に入院しており、さらに感染のリスクが高まることが想定される。

ほとんどの産科混合病棟では、他科患者が入院となる場合のルールや基準を設けているが、「男性は除外」や「感染疑い・感染患者は除外」といったルールが設けられていない病院もあり、母子が安全に、安心して入院できる環境の確保が難しいと考えられる。

本調査では、産科混合病棟の約 7 割の助産師が産科と他科患者を同時に受け持っており、他科患者から産科患者や新生児への感染の媒体となる可能性が考えられる。また、感染だけではなく、産科患者は基本的に ADL が高く自律していることから、他科患者へのケアが優先され、育児支援や指導を必要とする母子のケアが後回しになる状況が危惧される。

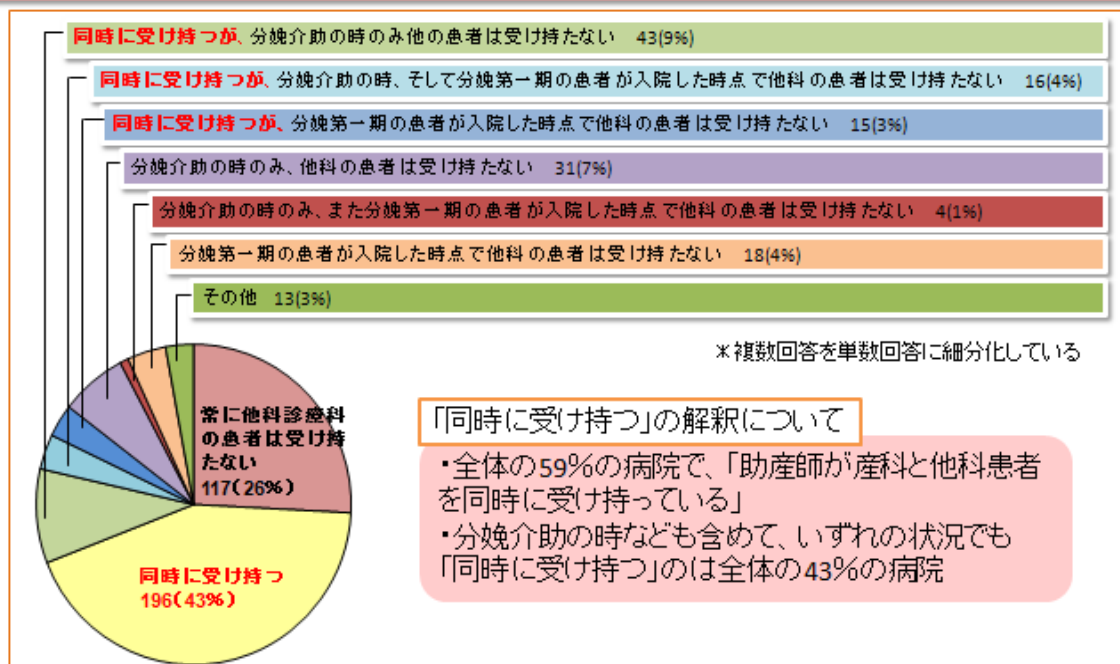
出生数が減少している日本において、今後も産科混合病棟が増加する可能性は否めない。しかし、安全・安心な出産環境を提供するには、母子が感染や他科患者へ児の啼き声などを気兼ねせずに入院でき、必要なときに助産師からケアを受けられる環境が望ましい。そのためには、例えば産科混合病棟の一角を産科専用と区分し管理するユニットマネジメントの導入など、産科混合病棟の在り方と管理に工夫が重要である。

混合病棟で、産科以外の診療科名称（複数回答・有効回答）



「産科と他科患者を同時に受け持ちますか」 (n=453病院)

- 産科混合病棟で、助産師が産科患者と他科患者を「同時に受け持つ」が196施設で全体の43%を占める。ここでいう「同時に受け持つ」とは、分娩介助の時も含めて、いずれの状況でも「同時に受け持つ」ことを意味する。
- 次いで、「常に他科患者は受け持たない」が117施設で全体の26%である。



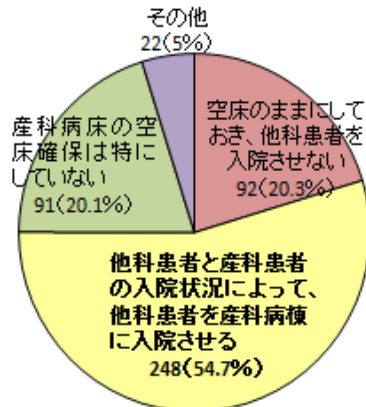
「同時に受け持つ」の解釈について

- ・全体の59%の病院で、「助産師が産科と他科患者を同時に受け持っている」
- ・分娩介助の時なども含めて、いずれの状況でも「同時に受け持つ」のは全体の43%の病院

産科病棟に空床がある場合の対応 (n=453病院)

- 産科病床に空床がある場合の対応で「他科患者と産科患者の入院状況によって、他科患者を産科病棟に入院させる」が248病院で全体の54.7%に上る。次いで、「空床のまましておき、他科患者を入院させない」が92病院で20.3%、「産科病床の空床確保は特にしていない」が91病院で20.1%である。

(単数回答)



| | 常に産科病床として確保している病床数 | 空床のまましておき、他科患者を入院させない | 他科患者と産科患者の入院状況によって、他科患者を産科病棟に入院させる |
|-------|--------------------|-----------------------|------------------------------------|
| 平均 | 回答: 58病院 6.6床 | 回答: 186病院 4.9床 | 回答: 186病院 4.9床 |
| 最少-最多 | 回答: 58病院 1床-17床 | 回答: 186病院 1床-48床 | 回答: 186病院 1床-48床 |

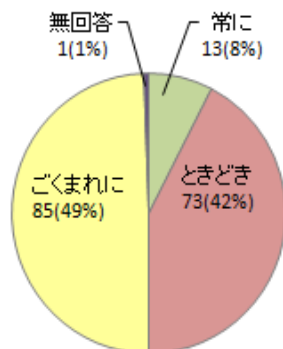
産科患者の入院先病室の決定方法について (n=453病院)

- 産科患者のみの病室へ入院(他科患者とは別室)が48.8%でもっとも多く、次いで他科の患者と同室が38.0%である。
- 他科の患者と同室になる頻度としては、「常に」が7.6%、「ときどき」が42.4%、「ごくまれに」が49.4%である。

| | 件数 | % |
|------------------------|-----|-------|
| 産科患者は基本的に個室へ入院 | 60 | 13.2% |
| 産科患者のみの病室へ入院(他科患者とは別室) | 221 | 48.8% |
| 他科の患者と同室 | 172 | 38.0% |

| 病床数 | 件数 |
|-----------|------------|
| 20~99 | 14 |
| 100~199 | 39 |
| 200~299 | 58 |
| 300~399 | 87 |
| 400~499 | 82 |
| 500~599 | 44 |
| 600~699 | 36 |
| 700~799 | 14 |
| 800~899 | 8 |
| 900~999 | 6 |
| 1000以上 | 3 |
| 無記載 | 2 |
| 総計 | 393 |

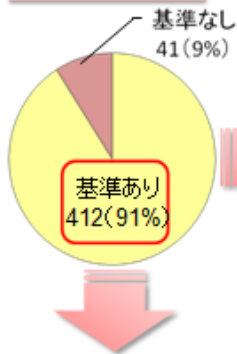
他科の患者と同室の頻度



| 分娩件数 | 件数 |
|-----------|------------|
| 1~100 | 26 |
| 101~300 | 117 |
| 301~500 | 122 |
| 501~800 | 92 |
| 801~1000 | 23 |
| 1001~1500 | 10 |
| 1501~2000 | 3 |
| 総計 | 393 |

他科診療科患者が混合病棟に入院、もしくは産科患者が入院している病室に入院する際のルールや基準の有無と内容 (n=453病院)

9割は基準あり



ルールや基準はどの程度守られているのか？

※回答者の記述通りに記載

| | 件数 | % | | |
|--------------------------|-----|-------|---|---|
| 完全に守っている | 222 | 54.4% | ほぼ守られている | 2 |
| ケースバイケースで入院患者を受け入れざるをえない | 117 | 28.7% | 原則守られているが、ターミナルにおいては受け入れることがある | 1 |
| ルールはあるが、緊急があれば入院を受ける | 63 | 15.4% | 感染疑い・感染患者、就学前の小児科、男性は除外しているが、ターミナルと不穏・認知の症状がある患者はケースバイケース | 1 |
| ルールはあるが、ほとんど守られていない | 2 | 0.5% | 師長間で相談 | 1 |
| その他 | 4 | 1.0% | 合計 | 5 |

| 感染疑い・感染患者は除外 | 就学前の小児科は除外 | ターミナル期は除外 | 男性は除外 | 不穏・認知の症状がある患者は除外 | クリニカルパス適応者のみ入院可 | その他 |
|--------------|------------|-----------|-------|------------------|-----------------|-------|
| 351 | 219 | 187 | 355 | 230 | 9 | 73 |
| 85.2% | 53.2% | 45.4% | 86.2% | 55.8% | 2.2% | 17.7% |